

長野県最南端の「阿南町」。伝統野菜と伝統芸能を守る‘秘境’和合地区（旧和合村）で
山の暮らしを楽しみながら活動してくれる地域おこし協力隊を募集します！

「この先、本当に人が住んでいるの？」と不安になるような細く曲がりくねった谷底の道の先に13の集落が点在し、約175人が暮らす和合地区は、清流と深い山に囲まれた地域です。

今回地域おこし協力隊の受け入れを行うのは、和合地区の住民有志で組織され、地域おこしを目的に活動する「和合元気なむらづくり協議会」という団体です。主に、和合地区でのみ継承されてきた信州の伝統野菜「鈴ヶ沢なす」「鈴ヶ沢うり」「鈴ヶ沢南蛮」の生産・販売・PR活動、耕作放棄地を再生してのお米づくり、若者の移住・定住促進活動などを行っています。しかし、それぞれが仕事をしながら行っていますので、十分な活動を行えていないのが実情です。そんな私達に力を貸し、一緒に活動してくれる地域おこし協力隊を募集します。

《和合元気なむらづくり協議会の主な活動は…？》

●「農福連携」で守る！信州の伝統野菜、鈴ヶ沢の野菜たち

和合地区には、信州の伝統野菜が3つあります。いずれも、和合最奥の集落「鈴ヶ沢」（標高900m）で地元住民によって作られ、受け継がれてきた「なす」「うり（きゅうり）」「南蛮（唐辛子）」です。最近では、大きさや特徴的な味、尊さが評価され始め、県内や東京・京都などの飲食店で提供されるようになりました。その一方で、高齢化が進み、伝統野菜の生産者の減少が深刻な問題でした。そこで、ここにしかない貴重な野菜たちを維持・継承するため、4年前から「農福連携」を取り入れています。土づくり、苗づくりから始まり、収穫期を経て、畑の片づけまで、約半年間を町内に住む軽度の知的障害を持つ方々と協働し、作業しています。素直でコツコツと真面目に働く彼らとの作業時間はとても和やかな雰囲気の中で行われています。

また、農法にもこだわり、化学肥料や農薬を使わず、地域のお年寄りから教わった昔ながらの方法を用いています。



（甘くてもちもちの「鈴ヶ沢なす」、爽やかな食味で果肉が柔らかい「鈴ヶ沢うり」、究極の辛みと旨味・香りを併せ持つ「鈴ヶ沢南蛮」）



（信州の伝統野菜「鈴ヶ沢なす」「鈴ヶ沢うり」「鈴ヶ沢南蛮」の植え付け体験会。障がい者の他、和合小児童や県内外の飲食店店主、県内大学生や地域残しに興味のある方々も参加し、植え付けを体験しました。）

●移住・定住促進で守る！地域と和合小学校

「地域を維持していくには、何よりも人。」

3年前、和合地区にある阿南町立和合小学校は、長野県内で一番児童数の少ない小学校になりました。

日本各地で小学校の統廃合が進む中で、地域の灯りである和合小学校はどうしても残していきたいという地域住民の強い思いにより、PTAを主体に和合元気なむらづくり協議会のメンバーなどが協力し、「親子山村留学」の募集を始めました。それ以来、3世帯（小学生3人、乳幼児3人を含む家族）が移住し、小学校の総児童数は7人（2018.4現在）となりました。

和合地区は、「親子山村留学」の募集以前から、移住者の割合が高く、現在は26%（19世帯47人）が移住者です。地区のお祭りや行事にも積極的に参加し、「和合」の名の通り、皆仲良く暮らしています。

和合元気なむらづくり協議会では、移住希望者から相談があった場合、窓口となり、住まいの相談などに対応しています。

《和合地区ってどんなところ？》



→「阿南町立和合小学校」は長野県内一児童数の少ない超小規模小学校です。一人一人の個性に合った、また、地域と密着した教育が行われています。



→保育士免許と山ほいくの経験を持つ住民による子育てサポートも始まりました。和合の自然の中で、のびのび遊ぶ子どもたちの目はキラキラと輝いています。



←国重要無形民俗文化財に指定され、約 250 年の歴史を持つ「和合の念仏踊り」は8月12日～16日に行われます。このお祭りにも多くの移住者が参加し、地域の方々に教わりながら、継承の一端を担っています。



←和合元気なむらづくり協議会では耕作放棄地を再生してお米づくりも行っています。
田植えと稲刈りには、子どもから大人まで有志が集い、作業します。



←和合には老若男女、様々なスキルを持った人が住んでいます。狩猟や有機農業をはじめ、日本ミツバチの飼育、アマゴの養殖、林業、自分で家を建てた人や自給的な暮らしをしている人もいます。3年後の定住に向けて、思い描く暮らしの実現のために、これらの技術の習得もサポートします。

《こんなことをしてもらいたい！》

4月から11月（特に夏季）は伝統野菜の畑で障がい者の皆さんと一緒に作業をしたり、販売・PR活動等、伝統野菜に関わる業務を、それ以外の時期には移住定住促進や交流人口・関係人口の増大につながるような活動をしたり、ご自身の得意分野や能力を生かし、地域おこしにつながるような活動をしたりしてもらえたらと考えています。

地域の行事やお祭りにも積極的に参加し、地域住民と関係を築き、そして何より、和合でのご自身の生活を楽しんでもらいたいと思っています。和合を大好きになって、任期終了後も定着してくださることを期待しています。

少しでも興味を持ってくださった方、ぜひ一度和合へ足を運んでみてください。お待ちしております。